

④ 赤井地区

(1) 災害の状況など

赤井地区は定川からの越流による浸水被害に見舞われ、長期間にわたり広範な地域が浸水しました。これまでも、台風等における大雨時には緊急的な排水対策が必要な地区であり、今回の震災での地盤沈下による浸水被害が大きな問題となっており、恒久的な排水対策が求められています。

(2) 地区復興まちづくりの方向性

定川の越流が大きな被害をもたらしており、河川堤防の^{かさ}嵩上げが不可欠です。また、市街地の浸水被害を軽減するため、大きく破損した排水機場の復旧・復興に合わせた国、県との調整を行い、可能な限り短時間での排水が可能となるような排水機能の向上に向けた整備を推進します。



⑤ 大塩地区

(1) 災害の状況など

市内では高台に位置するため、津波は到達せず、地震被害が中心の地区です。

(2) 地区復興まちづくりの方向性

大塩地区は津波被害を免れ、工業用地、公園等を中心に大規模な仮設住宅を整備しました。しかし、本来の土地利用目的である工業用地が不足していることから、市内の公営復興住宅等の恒久住宅の整備を促進し、企業誘致を推進していくこととします。また、広域的避難施設である鷹来の森運動公園の防災機能の拡充を図ります。



⑥ 小野地区

(1) 災害の状況など

牛網、浜市地区は、北上運河とJR仙石線の間に広がる平坦な土地に形成されており、海から直接の津波及び鳴瀬川からの越流により大きな被害を受けています。また、JR仙石線陸前小野駅周辺市街地は海岸部から1.5kmに位置していますが、背後の丘陵部まで津波が到達し、区画整理施行地域も含めた全域で浸水被害を受けました。

鳴瀬庁舎周辺の市街地についても、国道のアンダーパス部分からの浸水により床上浸水に見舞われました。

(2) 地区復興まちづくりの方向性

牛網、浜市地区は、現地での住宅再建が困難な家屋も多く、地区外への集団移転の意向が示されており、住民の考え方を十分に踏まえた移転を推進します。また現地再建の意向への配慮はもちろんのこと、小野駅周辺や鳴瀬庁舎周辺の既存市街地への防災として、多重防災構造の整備や鳴瀬川堤防の機能強化を推進します。なお、国道のアンダーパス部分の対応について、整備手法を検討します。

浜市小学校については、現地復旧が極めて困難であることから、移転を基本とし、移転校の整備手法については、学校統合再編計画と並行して検討を進めます。



新たなコミュニティづくりの第一歩

復興まちづくりの「要」となる集団移転事業等の造成工事の着手とともに、被災され住む家を失い集団移転先での住宅再建を希望する市民の皆さんが、集団移転先で安心して暮らしていただくことを目的に、各地区で「移転先復興まちづくり整備協議会」等が設立しました。

協議会では、専門部会や意見交換などの場を通じて、より住み良いまちを実現するための話し合いが行われています。

- 東矢本駅北地区まちづくり整備協議会<設立:2012年(平成24年)11月> 集団移転先地区:東矢本駅北地区
- 矢本西地区まちづくり整備協議会<設立:2012年(平成24年)12月> 集団移転先地区:矢本西地区
- 牛網地区まちづくり整備協議会<設立:2012年(平成24年)12月> 集団移転先地区:牛網地区
- 野蒜地区復興協議会<設立:2012年(平成24年)11月> 集団移転先地区:野蒜北部丘陵地区
- 宮戸まちづくり協議会<組織改変:2013年(平成25年)6月> 集団移転先地区:大浜・月浜・室浜地区